

1. 件名：福島第一原子力発電所における高性能容器(HIC)内スラリーの移替え作業に関する面談
2. 日時：令和4年7月21日(木) 15時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、松田室長補佐、横山係長、小西係長、塩唐松係員
福島第一原子力規制事務所
松沢原子力運転検査官、高松原子力運転検査官(テレビ会議システムによる出席)
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当7名(テレビ会議システムによる出席)
5. 要旨
 - 東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)から、高性能容器(以下「HIC」という。)内スラリーの移替え作業の進捗状況について、資料に基づき、以下の説明があった。
 - 2022年7月15日に移替え対象HIC(2022年1月末までに積算吸収線量が5,000kGyを超過したHIC)9基目の移替え作業が完了したこと。
 - 9基目の移替え作業実績のまとめ
 - ✓ ダスト濃度測定結果
 - ◇ スラリー移替え時に作業ハウス内でダスト濃度上昇が見られたが、最終的にホースの養生を実施することでダスト濃度上昇はせずに移送を完了したこと。
 - ✓ ダスト濃度上昇原因の調査状況
 - ◇ 養生を行っていないSEDSの電源ケーブル部表面の汚染密度が約7,000cpmであったこと。
 - 今後の対応
 - ✓ スラリー移送用ホース及びエアベントラインのホースの交換を検討していること。
 - ✓ 今後は、対策の検討と並行しつつ、ダスト濃度を引続き注視しながら移替え作業を進めること。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに、以下についてコメントした。
 - スラリー移送作業時にダスト濃度上昇を確認しているが、積算吸収線量が5,000kGyを超過した(または5,000kGyに近い)と判断されたHIC内のスラリーについては、漏えいリスク低減の観点から、今後もダスト濃度に留意しながら、引き続き早急に移替え作業を実施すること。
 - 今年度実施する残りのスラリー移替え予定について、作業工程が決まり次第原子力規制庁へ示すこと。
 - 移替え作業終了後速やかに、ダスト高警報が出たのか等、簡潔な一報を規制庁まで連絡すること。
 - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった
6. 資料
 - HICスラリー移替えの進捗状況